

◇令和 5 年度 北海道岩見沢高等養護学校 学校運営協議会 委員◇

- ・黄瀬 信之 様（岩見沢市情報政策部 部長）
- ・三好 由美子 様（地域生活支援センターあ〜ち 所長）
- ・横山 孝博 様（岩見沢あかり家 施設長）
- ・村上 咲枝 様（岩見沢市立東小学校 校長）
- ・内田 茂伸 様（岩見沢市立東小学校 PTA 会長）
- ・佐々木 規文 様（本校 PTA 会長）
- ・櫻田 なおみ （本校 校長）

令和 5 年度 第 1 回 学校運営協議会（記録）

1 日 時 令和 5 年 6 月 2 6 日（月） 1 0 : 0 0 ~ 1 2 : 0 0

2 場 所 北海道岩見沢高等養護学校 校長室

3 次 第

○委嘱状交付

○校長挨拶

- ・1 年生 23 名を迎え、本年度は全校生徒 53 名でスタートした。コロナ禍に置かれてきた近年であるが、この 3 か月、感染症 5 類への移行も経て引き続き感染症対策に配慮しながら教育活動をスタートしている。
- ・今年度も皆様の力をお借りしながら、学校づくりを一步ずつ進めたい。さまざまな視点、立ち位置からのご意見をいただくとともに熟議いただきたい。

○運営者自己紹介

○運営協議会委員自己紹介

※ 内田 茂伸 様（欠席）

○委員長、副委員長の選任

委員長…横山 孝博 様 副委員長…三好 由美子 様

○日程説明

○授業見学（第 2 校時）

- <総合的な探究の時間>（1 年）、<英語 Co II>（普通科 2 年）、<体育>（3 年）
- <専門科目：実習>（工業科 2 年）、<専門科目：商品開発と流通>（商業科 2 年）、
- <専門科目：ファッション造形>（生活科学科 2 年）

○説明・意見聴取

①令和5年度学校経営方針について

→委員から承認をいただく

②本校の教育活動に関わる説明

- ・教育課程、各学科の特色、進路決定状況、対外的な活動、センター的機能、災害時対策の取組、PTA活動などについて説明

○協議・意見交換

テーマ「地域とのつながり、学びのつながりを深め広げる“岩見沢高等養護学校”」
～社会人としての基盤づくりにつながる 高校生活の学びと体験の充実～

4 協議の内容・各委員からの意見など

<ICT利活用、IT系スキル育成など>

- ・ICT機器の活用について、高校であれば大学（北大、教育大）と連携を図って取り組んでいるケースがある。連携していくひとつの方法として考えてみてはどうか。
- ・大学との連携の中で、生徒・学生同士のつながりができたら、オンライン等を活用してコミュニケーションを深めていくことなどにもつながれるのではないかな。
- ・これからは、ICT技術の先を行く人材を育てる時代（ロボットを操作する側の人材を育てる時代）。ICT環境が整っていないと、そのような教育活動を進めることが難しい。
- ・様々な技術や方法があるが、「メタバース」を使うことで、外国の方とつながったり、進路に関わることなどいろいろな授業を体験させたりすることも可能であるし、そのような体験も重要である。
- ・この先は、AIを使いこなせる人材の育成も重要となってくる。そのような知識や技術を学ぶ機会も考えていくとよい。

<地域との連携>

- ・東小学校との連携を色々なテーマで行っていくことも有益である。
- ・（東小学校の）防災関係の取組で、この後、町内会との縁が多くできてくる。（キャンプ・花火など盛り込んで、「防災祭り」を行う予定）地域の学校として、地域とともにできることもあるのではないかな。
- ・東小学校でも生徒の6年間だけを見ているわけではなく、将来を見据えて進めている。岩見沢で学んで良かったと思われるような学校生活をつくるのが大事であろう。
- ・学ぶ楽しさを生徒達が感じながら取り組んでいくことは、地域（岩見沢市）としてもぜひ行っていきたいので、連携させていただきたい。
- ・卒業後、様々な進路があると思うが、岩見沢に戻って就職（就労）してくれる人材がうまれると嬉しい。地域と連携することで、そのような人材を育成してほしい。

<教育活動全般にわたって>

- ・授業を見ての感想になるが、生徒が生き生きと活動していることが印象に残った。
- ・3年間でいろいろな体験をすると思うが、卒業後や将来など先への希望が持てるような内容を指導する必要がある。
- ・我が子を通学させている保護者としては、所属の学科だけでなくせっかくなので他学科の作業や学習も経験できればよいと思う。
- ・寄宿舎での生活も大変よい経験になっている。今後もより多くのことを体験させたい。
- ・学校生活においても、卒業後の生活においても、コミュニケーションがとても大切になると思う。
- ・今後、外へ向けて学校のことを発信したり、生徒が学校外に出て学習や活動する機会を増やしたりしていければよいのではないかな。

<校長より>

- ・「一日防災学校」を地域避難所の東小学校で実施させていただくなど、岩見沢市の協力も得ながら地域との関わりを意識した取組を少しずつ展開しはじめたところである。地域とともに地域防災を考える機会など、今後も継続、積み重ねをしていきたい。
- ・岩見沢アートギャラリーの取組や、廃プラスチック再利用プランへの参画など、大学や岩見沢市の事業とのタイアップ、東小学校と連携した地域活動などについて進めていく年度とできるとよいと考えている。
- ・本校の取組をもっと知ってもらうためには、学校からの発信が重要である。今後、発信力を高めることを工夫、検討していきたい。
- ・生徒達が何かを得ることだけではなく、共生社会の一員として、自分達にできる社会貢献活動の機会などについても、具体的取組を進めていきたい。

